

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 新道寺 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されることがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
本市	15.98	19.39	34.42	40.27	49.36	9.54	150.13	21.81	53.10

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92
本市	15.88	18.39	38.51	38.13	38.67	9.79	142.58	13.44	54.32

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
・男女ともに体育科の学習や運動に対して肯定的に捉えている。 ・体育科の授業以外でも運動やスポーツをしている割合が全国及び市の平均をやや上回っている。 ・「睡眠時間」「朝食の有無」については、全国及び市の平均に比較して、よい数値である。 ・「テレビやタブレット、ゲーム機器の使用」などメディアに接する時間については、全国及び市の平均に比較して、長時間使用していることから、学校で児童に呼び掛けるとともに、家庭に対しても啓発を行い、よりよい生活習慣の定着を図る。 ・授業で教え合ったり助け合ったりして「できた」と感じる児童が多いことから、他の教科と同様に「教え合い、学び合うこと」ができる学習活動を推進する。 ・体育の授業においてもタブレット端末などICT機器も活用し、視覚的に個人の運動を捉え、自分自身の改善点を把握し、技能の定着を図る活動をすすめる。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

・目標(めあて、ねらい)を明確にし、活動に取り組むとともに、目標にそった振り返りを行う。 ・年間を通して体力向上や運動に親しむための取組(2学期持久走:ランランタイム、3学期縄跳び:ぴよんぴよんタイム)を全校で進め、学校全体で「運動が好き、体を動かすことが楽しい」と児童が思うことができるようにする。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

・現在、朝の「やるこんタイム」で取り組んでいる毎週火曜日(体操:運動)、木曜日(縦割り運動)の取組を継続し、年間を通して体力向上に取り組む。また、掲示物等を活用し、日頃の生活習慣や学習習慣に関する意識付けを行うとともに、価値づけをしっかりとし、児童が自発的に運動や学習に取り組み、楽しさや喜びを味わうことができるようにする。
--